

2) 林道事業の場合

① 掘削及び運搬等

バックホウ掘削の場合の横断流用土（距離20m以下）はバックホウの掘削積込経費（平均距離10m）を含むものとし、距離20m以上のダンプトラック運搬の場合には、距離10mを差し引くものとする。

② 掘削土量、地山勾配及び幅員による機種を選定

表2.2 作業機種の選定（林道事業）

作業区分	掘削土量10,000m ³ 未満				掘削土量10,000m ³ 以上			
	地山勾配2割より緩		地山勾配2割より急		地山勾配2割より緩		地山勾配2割より急	
	全幅員 3.5 3.6m以下	全幅員 3.5 3.6m超え	全幅員 3.5 3.6m以下	全幅員 3.5 3.6m超え	全幅員 3.5 3.6m以下	全幅員 3.5 3.6m超え	全幅員 3.5 3.6m以下	全幅員 3.5 3.6m超え
掘削	—	—	バックホウ 山積0.45m (平積0.35m)	バックホウ 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	—	—	バックホウ 山積0.45m (平積0.35m)	バックホウ 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)
盛土均し	11 tブル	15 tブル	11 tブル	15 tブル	11 tブル	21 tブル	11 tブル	21 tブル
盛土締め (舗装前提の路床)	タイヤ ローラ 8~20 t	15 tブル 又は タイヤ ローラ 8~20 t	タイヤ ローラ 8~20 t	15 tブル 又は タイヤ ローラ 8~20 t	タイヤ ローラ 8~20 t	21 tブル 又は タイヤ ローラ 8~20 t	タイヤ ローラ 8~20 t	21 tブル又は タイヤ ローラ 8~20 t
盛土締め (路体)	11 tブル	15 tブル	11 tブル	15 tブル	11 tブル	21 tブル	11 tブル	21 tブル
捨土均し	11 tブル	15 tブル	11 tブル	15 tブル	11 tブル	21 tブル	11 tブル	21 tブル
掘削積込	バックホウ 山積0.45m (平積0.35m)	バックホウ 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	バックホウ 山積0.45m (平積0.35m)	バックホウ 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	バックホウ 山積0.45m (平積0.35m)	バックホウ 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)	バックホウ 山積0.45m (平積0.35m)	バックホウ 山積0.8m ³ (平積0.6m ³)

備考1 現場条件等により、本表により難しい場合は別途考慮すること。

2 過含水粘性土のような湿地ブルドーザしか施工不能の場合は、湿地ブルドーザとする。

3 施工幅員が2.5m以上4m未満の狭い箇所及び構造物付近の狭隘な箇所の敷均し等作業で、標準機種では施工が困難な場合は3 tブルドーザを適用できる。

③ 機械掘削及び積込

車道開設工事における掘削積込及び積込に係る機種を選定は、工事施工区間の横断方向の地山勾配を2割以上、2割未満に区分し次表を標準とする。

ア) 2割以上

表2.3 機種を選定（地山勾配2割以上）

土質区分	地山処理		ルーズ処理	
	作業種	作業機械	作業種	作業機械
岩石	掘削	ブレイカ	積込 運搬	バックホウ +ダンプトラック
		バックホウ		

イ) 2割未満

表2.4 機種を選定（地山勾配2割未満）

土質区分	地山処理		地山・ルーズ処理	
	作業種	作業機械	作業種	作業機械
岩石	掘削	リッパ又は ブレイカ	積込 運搬	(ルーズ) バックホウ +ダンプトラック
土砂			掘削積込 運搬	(地山) バックホウ +ダンプトラック

備考 制限林等林地保全上、特に配慮する必要がある場合及び小規模工事については、ア) の基準